

## 平成 30 年度プロジェクト研究実績報告書

【研究課題名】	子供向けのアントレプレナーシップ教育講座の開催
【研究代表者】	樋口 大輔（東京情報大学・准教授）
【研究分担者】	
【研究の目的】	<p>近年、日本社会においても経営学においても、イノベーションの担い手として起業家の重要性が改めて認識されてきているものの、実社会におけるその浸透は不十分であるように見える。そこで、次の時代の担い手である中学生を対象とした起業塾「中学生のための起業体験講座」を千葉市および四街道市と共同開催し、若い世代のアントレプレナーシップを喚起するとともに、実践的な経営学教育を展開する。本研究は、そのような教育プログラムの開発と効果の検証を目的とする。</p>
【研究報告】	<p>前年度までの枠組みを踏襲しながら、四街道市からの中学生の参加者も迎えて教育講座が実施された。今年度は、千葉市および四街道市の2中学校の生徒が参加し1チームでの実施となった。10月7日、10月14日、11月3日、11月4日の合計4日間の日程で4人の中学生を迎えて行われた。</p> <p>教育講座の実施前後においてアンケート調査を実施し、効果検証を行うためのデータの収集を行った。</p>
【成果の公表】	<p>本講座で継続的に収集したデータを分析し、教育講座開催の意義と教育的効果を検証した論文「起業家教育に向けた地域連携型起業体験プログラムの開発と教育効果」が本学研究論集 2018 年第 2 号に掲載された。</p>
【連携先・総評】	<p>千葉市 経済農政局経済部雇用推進課 市原 智久 課長</p> <p>この度は「中学生のための起業体験講座」開催にご尽力いただき、誠にありがとうございました。中学生たちが、樋口先生をはじめとして社会で活躍する大人たちの話に真剣に耳を傾け、悩みながら議論し、そして区民まつりで一生懸命に接客する姿がとても印象的でした。</p> <p>このような、社会人と交流しながらビジネスを考える経験は、学校ではなかなか得られない非常に有意義なものと考えております。引き続き、さまざまな場面で貴学との連携・協力を図れますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>四街道市 環境経済部産業振興課 和田 浩史 課長</p> <p>中学生が自分の将来を考える時、多くの子どもは、会社員などのいわゆるサラリーマンになる姿をイメージするのではないのでしょうか。この講座を通して、会社の設立から事業計画の作成、実践、さらには決算から会社の解散までを体験することで、子どもたちの中で自ら起業するイメージが具体化されたものと思います。将来の選択肢を増やすという意味でも、本講座は非常に濃密で、なかなか得難い有意義な時間であったと思います。</p>